

Saori Ikeuchi TIMES / no.027 / 2021.4.11 sun.

# TOKYO 12 HAUS

池内さおり通信  
 日本共産党  
 衆院東京12区  
 池内さおり事務所  
 〒115-0042  
 東京都北区志茂  
 2-53-7

電話：03-5939-6581 ファックス：03-5939-6582 メール：tokyo12haus@saori-ikeuchi.com

## 「医療・生活支援の現場から」トークイベント開催！

3月14日、ともに衆院比例東京ブロック候補の谷川智行さんを招いたイベントが、池内さおり事務所で開催されました。

医師としてコロナ禍の前線で奮闘し、さらに長年生活支援活動にも奔走してきた谷川さん。医療現場や生活困窮の状況、差別的処遇が大きな問題となっている入国管理局の問題等が濃密に語られました。池内さんは子どもや女性など弱い立場に置かれた人々のコロナ禍での困難を語り、社会保障、公衆衛生、雇用を壊してきた政治を谷川さんとともに厳しく批判。その中でも運動や国会論戦が切り拓いてきた前進を紹介し、今こそ政治を変えようと呼びかけました。

会場やZoomの参加者からは、「非正規労働者やシングルマザーがより困窮していることを実感して胸がしめつけられる思いです」「おふたりをみんなで押し上げたい」などの感想が寄せられました。



トークする谷川さん(左)と池内さん

### 色あざやかな社会へ

Column vol.27

声上げ続け、さらなる前進を！

女性ばかりを狙い、体やカバンなどを意図的にぶつけてくる……。以前報道された「ぶつかり男」です。女性を狙うところに、女性嫌悪(ミソジニー)に基づく暴力の特徴があります。

私もこの被害を受けたことをTwitterで投稿。スポーツ紙が私への取材もなくネットニュースに掲載。その後、私が降車する人を押しつけて乗り込んだかのような誹謗中傷が嵐のように殺到。

事実は、私は電車には乗っておらず、ぶつかられたのはホーム上でした。いかなる状況であれ暴力は許されぬ。「#池内さおりを支持します」の運動が広がり、世論におされ先日スポーツ紙側から直接謝罪を受けました。かつてないこと！

この一連の流れは、事実を尊重し誤りを認め、女性差別などの背景への深い理解が必要なテーマを慎重に扱うとするスポーツ紙側からの意見表明もなされるなど、画期的なもの。私のみならず、同じ被害を受けている多くの女性たちの声がかかりました。

私たちは前進している……。大きな変化を感じた4月の始まりです。



池内さおり  
Saori Ikeuchi  
前衆議院議員

毎月12日は

## TOKYO 12 HAUS の日

池内さおりがお待ちしている「TOKYO 12 HAUS」の日。  
実施再開のめどが立ち次第お知らせいたします。

## 池内さおり トークタイム

新型コロナウイルスの状況を踏まえ、  
当面の実施を見合わせます。





## 豊島地区委員会主催 ジェンダー平等学習会で講演

池内さんは3月6日、日本共産党豊島地区委員会が開催したオンライン学習会で講演。Zoomで37人が参加しました。

池内さんは自身の生い立ちの中での体験を紹介しながら、法律や社会制度に刻み込まれた性差別、また人々に内面化されたジェンダー意識に向き合い、改善していこうと呼びかけました。

参加者からは「自身の思考の底に無意識に淀んでいる差別意識と対峙する事が必要とあらためて思いました」「私たちの意識改革と法律を



講演する池内さん

変えるために政治の果たす役割が大切と分かりました」などの感想が寄せられました。

## 政治を変えよう！ 女性による女性のための相談会

池内さんは3月14日、大久保公園で開かれた「女性による女性のための相談会」（同実行委員会主催）を訪問。

会には不安定雇用で働く女性やシングルマザーなど、13、14日の2日間で125人が相談に訪れました。池内さんは「コロナ禍は弱い立場に置かれてきた人々に集中的に痛みが表れている」「政治は命に直結している」と語りました。

## 高校生、大学生と語り合う

3月28日、三鷹地区の高校生、大学生がジェンダー平等の問題について学びたいと池内事務所を訪れ、池内さんと懇談しました。

池内さんは学生からの活発な質問にこたえ、ジェンダー問題に取り組むに至った経過や、日本社会の性差別構造の現状と課題、運動について語りました。

参加者からは「差別という思いがなかったが、学んでようやく気付いた」「自分たち男性が変わらないといけない。男性の立場で声をあげていく必要がある」などの感想が寄せられました。

## 足立・板橋 各地で訴え

池内さんは3月、足立区の街頭、また板橋区のオンライン演説会で、政治を変えようと訴えました。

池内さんはコロナ封じ込めのための大規模検査と十分な補償、持続化給付金の再支給や医療機関への減収補てんを求め、今こそ政権交代を果たそうと訴え。聴衆からは「元気が出た」「都議選、衆院選で共産党を何としても躍進させたい」との声が寄せられました。



聴衆に挨拶する池内さん（足立）

## ネットで聴けるラジオ配信中！

朝岡晶子さんとおくる「池内さおりラジオ コミュニストはフェミニスト」が好評配信中です。

3月4日、第2回のテーマは「わたしはなぜ коммуニストになったのか」。池内さん、朝岡さんが共産党と出会い入党した経過が語られました。

第3回、27日のテーマは「子どもの声をまんなかに」。番組初のゲストにさいとう和子衆院南関東比例候補を迎え、さいとう候補がフェミニスト、 коммуニストになったきっかけや、国会現職時代の論戦、そして子どもの育ちを支える政治への転換の決意等が語り合われました。

配信後、「かざらないトークがどこをとっても普遍的で感動」「 коммуニストやフェミニストにゴールはないと言っていましたが、私も少しでも進めるようにがんばりたいと勇気をもらえました」などの感想が寄せられました。

過去の配信は、いつでも再生可能。次回配信は4月10日午後9時から。党東京都委員会ジェンダー平等委員会が実施した「痴漢被害アンケート」の結果について、同委員会メンバーの米倉春奈都議と椎野大輔さんをゲストに語り合います。



収録中の（左から）池内さん、朝岡さん、さいとうさん